

高山赤十字病院 広報誌

Vol.52

令和元年
秋号

日赤たいむ



- 産婦人科病棟 2部屋増床
- 新任医師の紹介 ●ピンクリボンキャンペーン
- 氷見市消防本部より感謝状 ●はなさと夏まつり
- 栄養課おすすめ簡単レシピ

産婦人科病棟 2部屋増床しました。



安心、安全なお産をめざして

10月1日より産婦人科病棟の部屋を2部屋増床しました。

壁紙やソファなどほかの部屋とは雰囲気を変えた仕様となっております。

当院は地域周産期母子医療センターの指定を受けており、他院からの母体・未熟児を受け入れ、飛騨地域における周産期中核的な役割を担っています。妊婦健診では医師と助産師が連携し、妊婦さんに優し

い健診を心がけ、専門外来として「助産外来」や「母乳外来」などを行っています。また、里帰り出産の受け入れの充実、産後健診なども積極的に行っております。

市民健康まつりにてピンクリボンキャンペーンを開催



乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える活動として毎年10月にピンクリボン活動を行っています。今年は、乳がんを知っていただくために、高山市民健康まつりにて来場者に乳がんに関するクイズに答えていただきました。回答

された方にはオリジナルのうちわを配布いたしました。男女や年齢問わず、93名の方に参加をしていただき、乳がんを知っていただく良い機会となりました。

乳がんはセルフチェックが重要です。定期的なチェックと検診を行い、早

期発見・早期治療につなげましょう。
ご協力いただいた『ききょうの会』の皆さん、どうもありがとうございました。

氷見市消防本部より感謝状が贈呈されました



9月29日(日)氷見市消防本部より当院看護師へ感謝状の贈呈式が行われました。

稲越美紀看護師(入退院支援課)は、8月4日氷見市海岸にて高校生が溺れていたところ、たまたま居合

わせた消防隊員、看護師の3名と協力し心肺蘇生を実施。適切な処置の結果、高校生は自発呼吸を取り戻し、駆けつけた救急隊に引き継ぐことができました。その後、消防署から意識が回復したことを電話で聞いた稲越看護師は、「とにかく助かってよかった。ほっとした。」と語りました。氷見消防署正保署長からは「初動の処置が適切だったので、その後につながった。」と稲越看護師の行動に感謝の言葉をいただきました。

新任医師の紹介



内科

金田 裕人 (かねだ ゆうと)

10月より岐阜大学医学部附属病院より内科着任となりました金田裕人と申します。血液内科、消化器内科を中心に、内科系全般の診療をさせていただきます。丁寧な診療を心がけ、高山の医療に一生懸命貢献してゆく所存です。

今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。



内科

葛西 佑太郎 (くずにし ゆうたろう)

2019年10月付けで内科に着任いたしました葛西佑太郎と申します。

まだまだ若輩者ですが今までに培った経験を活かしつつ、飛騨地域の医療に貢献できるよう精進したいと思います。これから宜しくお願い致します。



外科

服部 公博 (はっとり きみひろ)

10月より外科に着任しました、服部と申します。

地域の人々の医療に貢献できますよう努力いたしますので、よろしくお願いいたします。



救急部

井上 修平 (いのうえ しゅうへい)

はじめまして。名古屋第二赤十字病院から着任いたしました井上修平と申します。私は現在、救急科後期研修医2年目として3ヶ月毎に他科、他施設で研修させていただき救急医療を学んでおります。

今回、12月まで高山日赤で勤務させていただくこととなりました。短い期間で至らぬ点多いと思いますが少しでも高山の医療に貢献できればと思いますのでよろしくお願い申し上げます。



産婦人科

上田 真子 (うえだ まこ)

10月より高山赤十字病院に着任しました産婦人科の上田真子と申します。名古屋第一赤十字病院から静岡赤十字病院を経て、今回高山赤十字病院に勤務することとなりました。それぞれの地域の違いを肌で感じながら、刺激的な毎日を過ごしております。半年間と短い間ですが飛騨地方の医療に貢献できるよう頑張ってお参りますのでよろしくお願い致します。



眼科

前沢 琢磨 (まえざわ たくま)

10月より名古屋市立東部医療センター眼科より着任いたしました、前沢琢磨と申します。もともと当院の初期研修医として研修をさせていただきました。再び戻ることができ大変嬉しく思っています。

一生懸命、日々の診療や手術などを頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

老健はなさとにて夏祭りを開催



「笑顔花咲く、はなさと夏祭り令和元年」のスローガンのもと、令和初の夏祭りを開催しました。会場では「舟山太鼓保存会」の皆様による太鼓、「山王・古川フラダンス教室」の皆様によるフラダンス、さら

に、今年初出演となる「杉山修さん」のライブにより、大いに盛り上がり、利用者さんだけでなくご家族さんや私たちスタッフも一緒に楽しませていただきました。

また、焼きそばやからあげ、アイ

ス等のバザーも開催し、利用者さんも普段フロアで食べる食事とは違った物を食べられた方もみえ、夏祭り気分を味わってもらえたのではないかと思います。

今年も、ご家族さんをはじめ、ボランティアの方々などたくさんの方にご協力していただいたお陰で、たくさんの方の笑顔を見ることができました。



栄養課おすすめ! 簡単レシピ

ローストビーフきのこソース (一人分322kcal)

材料(3人分)

●牛ブロック	220g	■A	
●ハーブソルト	適量	●赤ワイン	50ml
●ブラックペッパー	適量	●みりん	大さじ1
●サラダ油	大さじ2~3	●砂糖	小さじ1
●にんにく	1かけ	●醤油	大さじ1

ソース		●まいたけなどお好みのきのこ	適量
●赤ワイン	100ml	●みりん	大さじ1
●玉ねぎ	1/4個	●砂糖	大さじ1
●しめじ	適量	●醤油	大さじ3
●しいたけ	適量	●めんつゆ(2倍希釈)	大さじ1



作り方

- ①肉は常温に戻し、ハーブソルト・ブラックペッパーで下味をつける。
- ②フライパンにサラダ油をひき、潰したにんにくで香りづけをする。肉を入れ表面に焼き色を付ける。
- ③肉を取り出し、フライパンに残った肉汁にAを入れ煮詰める。ファスナー付きビニール袋に肉と調味液を入れる。
- ④炊飯ジャーに熱湯と③を入れ、保温にて40分待ち取り出してから冷ます。
- ⑤フライパンに赤ワインを煮詰め、みじん切りにした玉ねぎ、お好みのきのこを入れ、その他の調味料を入れる。少し煮詰めて完成。
- ⑥盛り付けて出来上がり。



相談窓口紹介



高山赤十字病院
がん相談支援センター

☎0577-32-1111 (代表)

(内線 1203) **原則予約制**

がんに関する情報、
お悩み、不安など
気軽にご相談下さい。

がん相談支援センターは1病棟2階
総合相談窓口内にあります。

お気軽にご相談(無料)ください。

- がんの治療・検査・身体症状・気持ちのつらさ
- 医師とのコミュニケーション・家族の不安
- 治療と仕事の両立について
- 副作用対策について
- セカンドオピニオンや治療の場の選択



高山赤十字病院は地域がん診療連携拠点病院です。

- 受付時間…平日/午前10時～午後3時
- 相談方法…まずはお電話ください

外来のご案内

診療受付時間 午前8:30から午前11:00まで

診療開始時間 午前9:00

休診日 土曜、日曜、祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)、
日本赤十字社創立記念日(5月1日)

※ただし、救急の場合は24時間対応しております。

●電話予約センター ☎0120-214-489 ニッセイシヨク 受付時間:午前8:30から午後4:00まで

※ただし初診の電話予約には紹介状が必要です。紹介状のない方は、当日受付窓口へお越し下さい。

初診の方 診察申込票に必要事項をご記入の上保険証、紹介状等を添えて新患者受付へお出し下さい。

予約の方 予約票の時間にしがって直接受診科へお越し下さい。

受診の際は必ず保険証のご提示をお願いします。

「わらび会」入会のご案内

高山赤十字病院は、昭和60年12月に糖尿病患者さんの患者会「わらび会」を発足しました。患者さんの糖尿病の治療・予防に対する知識の普及と、福祉の増進・相互の親睦を図ることを目的に活動しています。

●活動:患者会総会、小旅行、語る会、親睦会、調理講習会、講演会
(活動時は当院の医師、看護師、栄養士が参加します。)

●会費:年間3,000円(糖尿病情報誌「さかえ」購読料含む)

なお、会員は当院通院中の患者さんに限らせていただいております。入会の申し込みや詳しく聞いてみたいと思われる方は、健康相談室のスタッフにお問い合わせ下さい。

+ 日赤たいむ

日本赤十字社

令和元年秋号

発行:高山赤十字病院 岐阜県高山市天満町3-11

発行元:経営企画課

TEL/0577-32-1111(代) FAX/0577-34-4155

URL: <http://www.takayama.jrc.or.jp/>